



(損保版)

第1〜4月曜日発行
発行所 新日本保険新聞社
大阪府西区本町1丁目5-15
電話 (06) 6225-0550 (代表)
FAX (06) 6225-0551 (専用)
購読料 1か月2160円
(消費税、送料込み)
©新日本保険新聞社 2019

シンニチ保険Web
www.shinnihon-ins.co.jp
購読者専用バックナンバー
閲覧パスワード
Cleopatra57
2019年6月3日 AMまで
※偶数月の第一月曜日正午ごとに変更

『仲間づくり推進』で会員増強

神奈川代協 第11回通常総会を開催



雨宮会長

総会に先立ち同代協の
雨宮会長が挨拶。時代
が平成から令和になった
ことを引合いに出した雨
宮会長は、環境変化に対
する代理店の意識付けに
ついて「変化というのは
移ろい、気がつくことと
変わっていったというものが
多い。損保業界では自動車
保険がまさにそうだ。少
しずつだが確実に変わっ
ていく。自動車は所有が
ら利用に変化している。
私たちが代理店は各自のベ
ストプラクティスの構築
に努めているが、ここで
陥りがちなのは、一生懸
命に最先端のことに取り
組んでいるつもりでも、
その結果、とすれば視

大局的な視点も大事

環境変化に対する事業展開で

神奈川代協は、5月15日、横浜市の東京海上日動横浜中央支店で第11回
通常総会を開いた。総会では2018年度事業報告や2019年度事業計
画など5つの付議事項が審議され、いずれも可決承認された。事業計画で
は、会員増強活動を「仲間づくり推進」に変更し、チャネル区分に関係な
く保険を本業の一つに位置付け、志の高いプロ代理店に加入を働きかけて
いくとした。また、サイバーセキュリティ対策に関する啓発活動の一環と
して神奈川県警と連携を図っていくとした。

点がミクロ的になり、大
局的な視点をなくしてし
ていくなかで、神奈川
代協では今回の総会終了
後、47都道府県のなかで
第一番目に県警との連
携によるサイバーリスク
セミナーを企画してくれ
た」と謝辞。「このセミ
ナーを機にぜひ、地域で
のサイバーリスク対策に
が、この業界に身を置く
私たちの社会的使命だ」と
述べ、代協の協力を呼
びかけた。
また、小俣氏は、日本
代協の主要な取組みにつ
いて説明した。そのうち
の一つである中小企業や
一般消費者向けのサイバ
ーセキュリティ対策の啓
発活動については「日常
業務でサイバーリスクへ
の対策が喫緊の課題とな
っているなかで、神奈川
代協では今回の総会終了
後、47都道府県のなかで
第一番目に県警との連
携によるサイバーリスク
セミナーを企画してくれ
た」と謝辞。「このセミ
ナーを機にぜひ、地域で
のサイバーリスク対策に

春秋

京都に花見の旅行に
出かけた。何しろ人気
の高い京都だ。宿泊先
の確保がとんでもなく
難しい。半年以上前に、
一週間空けて二つの日
を仮予約した。そして、開花予測を見
ながら二週間前に片方をキャ
ンセルした。

「令和の始まりに花々咲き誇る」

京都に花見の旅行に
出かけた。何しろ人気
の高い京都だ。宿泊先
の確保がとんでもなく
難しい。半年以上前に、
一週間空けて二つの日
を仮予約した。そして、開花予測を見
ながら二週間前に片方をキャ
ンセルした。
実際にこれが大外れとなっ
た。予想外の冬の寒さのふり返しで、
肝心のソメイヨシノの開花が遅れ
た。それでも醍醐寺や岡崎の蹴上イ
ンクラインの桜を楽しむことはでき
たのだが、桜はやはりソメイヨシノ
である。この花はクロンだ。だから
一斉に開花し、一斉に散っていく。
この世の無常を感じるほどだ。
しかし、桜が散ってしまわな
い。春は桜のみに代表されるのでは
ない。とつくづく感じる。まずは木々
の新緑だ。そしてつづいて咲き誇る。
小川の菖蒲も美しい。棚から垂れて
そのさまはあまりにも見事に潔い。
この世の無常を感じるほどだ。
しかし、桜が散ってしまわな
い。春は桜のみに代表されるのでは
ない。とつくづく感じる。まずは木々
の新緑だ。そしてつづいて咲き誇る。
小川の菖蒲も美しい。棚から垂れて
互いに食い合い、殺し合っ
ている。生物の最上位にいる人
間は、人間同士で殺し合う。
平成が終わり、令和になった。この
元号の考案者とされる中西進氏は、
令和を「調和の精神」と表現
している。これから始まる令和の時
代が、生命の溢れる地球におい
ても、その意味する通りの時代であ
ることを心から願う。(知定)



中島巡査部長

「サルマナー検定3級資
格を取得できる公開セミ
ナーを今年度のメイン活
動として実施するとし
た。また、サイバーセキ
ュリティ対策に関する啓
発活動の一環として、神
奈川県警サイバーセキ
ュリティ対策本部と連携
し、中小企業経営者向け
のサイバーセキュリティ
対策セミナーを推進して
いくこととした。
総会終了後は、本日のセ
ミナーが開かれ、神奈川
県警本部神奈川県巡査
部長の中島範久氏が「サ
イバー犯罪の情勢とリス
クの低減について」、次
いで、株式会社夕月の清
水淳子代表取締役と奥野
高土専務取締役が「企業
の存続〜東日本大震災を
超えて〜」をテーマにそ
れぞれ講演した。
サイバーリスクを完全
になくすることはできない
と述べた中島氏は、お金
や個人情報、秘密情報を
取り扱う端末とEメール
やウェブを使う端末を別
々に用意するという神奈
川県警の推奨策「セパレ
ート大作戦」に取り組ん
でもらいたいと呼びかけ
た。
今回は「大規模自然災
害への対応と今後の取組
み」および「長時間労働
につながる商慣習の見直
しに向けて」の2つのテ
ーマについて双方の意見
を交換した。



活発に意見を交えた懇談会

5回目の懇談会開く
大規模自然災害への
対応等で

日本代協は、5月
9日、損害保険労働
組合連合会(損保労
連)・損保グループ
産業政策委員会と懇
談会を開催した。
損保労連との懇談
会は今回で5回目と
なる。この懇談会は、
消費者に最も近い保
険代理店と保険会社
が出席した。
大規模自然災害に向
けては、代理店の立場で認
識した募集体制や支払体
制に関する課題解決に向
け、行政・業界・保険会
社・代理店が対応すべき
ことについて意見交換し
た。
また、商慣習の見直し
に向けては、働き方改革
関連法施行を契機に、代
理店・保険会社が認識し
ておくべき課題等につい
て、双方から活発な意見
が出された。